紀尾井だより 11/12 November / December 2023 [Vol.162]

紀尾井ホール室内管弦楽団 2024年度 定期演奏会

音楽でつづる文学 源氏物語 6 夕顔 7 女三宮と柏木

連載

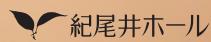
歌舞伎をめぐる音楽のことごと 第四回

歌舞伎と三曲

クラシック音楽のテーマに基づく3つの話

イザイをめぐる3話



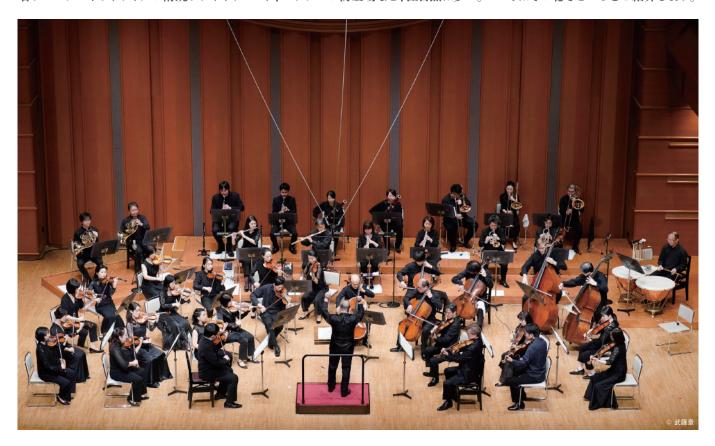




紀尾井ホール室内管弦楽団

2024年度 定期演奏

2024年度は、紀尾井ホール室内管弦楽団(KCO) って、首席指揮者ピノックの就任3年目の集大成の年となる。4回の定期 演奏会には、彼が信頼を寄せる指揮者やソリストたちが登場。ピノック自身は、初期ロマン派中心のプログラムと、まさに集大成と いえるモーツァルトの歌劇《コジ・ファン・トゥッテ》(演奏会形式)を披露する。ちなみに演奏会形式オペラはKCO初の試みだ。こ のほか、前回大きなインパクトを与えたピアノのアンデルシェフスキやチェロのアルトシュテットの再登場、パリで注目を集める指揮 者デュムソーやラトヴィアの精鋭ヴァイオリニスト、バラナスの初登場など、注目点は多い。ここではその聴きどころをご紹介しよう。



テーション的な観点での興味も刺激する

序曲はバルトーク風の弦楽合奏曲なので、KCOのプレゼン 回のグノーの小交響曲は優雅な管楽合奏曲、ルトスワフスキの 形で表現意欲溢れる生き生きとした快演を聴かせているし、今 なしのKCOの演奏も大きな聴きもの。彼らはこれまでもこの 的なプログラム。自らの意志を反映できる弾き振りも、紀尾井

と、若きベートーヴェンの覇気が漲る第1番という、さらに魅力 モーツァルトの明暗の妙が最大限に発揮された協奏曲第23番 つの協奏曲を弾き振りし、豊穣な音楽で魅了したが、今回は

を発揮にするには最適ゆえに、ここは必聴だ。もう一つ、指揮者 ホールの音響空間も、感受性豊かなアンデルシェフスキの特長

マン派、近代に至る幅広い時代の プログラムが用意されている。 2024年度は、古典派から

感性に訴えかける。前回2021年11月には、モーツァルトの2 の演奏は、聴く者の耳を惹きつけ スト。思索的で研ぎ澄まされたそ アンス豊かな音楽を奏でるピアニ 集まる。彼は清冽なタッチでニュ デルシェフスキの再登場に注目 第138回は、ピョートル・アン

ロを弾くドヴォルジャークのヴァイオリン協奏曲も要注目。明 共演しているラトヴィアの名花クリスティーネ・バラナスがソ ヴェーバー《オイリアンテ》序曲、シューマンの交響曲第1番 ロマン派の作品でも発揮されている。すなわちすべてに生命力 リッシュ・コンサート時代のバロックや古典派の作品で、生気と ずは初期を軸にしたロマン派の名曲を披露する。彼は、イング 奏も極めて興味深い。また、ロンドン・フィルやパリ室内管等と 性に当然ジャスト・フィットするし、日本初披露のシューマン演 ている。それゆえロマン派の音楽も常に新しい。特に今回 が溢れ、しかも円熟とともにコクと味わいのある音楽を聴かせ 躍動感に充ちた音楽を展開していたが、そうした美点はその後 〈春》は、いずれも躍動感に充ちた心弾む作品。ピノックの音楽 第139回は、トレヴァー・ピノックの今シーズン初登場。ま

紀尾井ホールウェブチケットで定期会員 新規募集開始! 2023年11月1日(水)正午~



第140回 $_{2024}$ 9/20(金)19:00 $^{ullet}21$ (土)14:00

文学が香り、舞台を彷彿させる 知的なプログラムでデュムソーが 東京でシンフォニー・デビューを果たす





[出演] ピエール・デュムソー(指揮) ニコラ・アルトシュテット(チェロ)

「曲目」

交響的断章《蜘蛛の饗宴》op.17 ルーセル プロコフィエフ 交響的協奏曲ホ短調 op.125 劇付随音楽《アルルの女》第1組曲・第2組曲

$^{(3139 \text{ o})}$ 2024 6/21 (金) 19:00 $\cdot 22$ (土) 14:00 \cdot

ピノックの新鮮な解釈が冴える 初期ロマン派の瑞々しい傑作3題





[出演] トレヴァー・ピノック(指揮) クリスティーネ・バラナス(ヴァイオリン)

[曲目]

ヴェーバー 歌劇《オイリアンテ》序曲 ドヴォルジャーク ヴァイオリン協奏曲イ短調 op.53 交響曲第1番変口長調《春》op.38 シューマン

第138回(20244/19)(金)19:00 $\cdot 20$ (土)14:00

繊細で思慮に富む ピアノが魅力のアンデルシェフスキ、 ウィーンの夢あふれるコンチェルトで再登場



[出演] ピョートル・アンデルシェフスキ(指揮・ピアノ)

[曲日]

小交響曲変ロ長調 グノー

モーツァルト ピアノ協奏曲第23番イ長調 K.488 ルトスワフスキ 弦楽のための序曲

ベートーヴェン ピアノ協奏曲第1番ハ長調 op.15

第141回) $2025\,3/14$ (金) $18:00\cdot16$ (日)14:00

※開演時間・曜日にご注意ください

ピノックが首席指揮者3年目に集大成として贈る アンサンブル・オペラの傑作

[曲目]

モーツァルト 歌劇《コジ・ファン・トゥッテ》K.588

[演奏会形式/上演時間・約3時間]



「出演]



フィオルディリージ マンディ・フリードリヒ



ドラベッラ 湯川亜也子

でもある

。近年、

楽自体の

美感

才

ケストラの音

して堪

能できる演奏会形式

オペラが見

直

され

て

-作品

上演機会は決して多くない

今

П

音

細

まで感知

i

で聴



グリエルモ



フェッランド デスピーナ コンスタンティン・クリメル マウロ・ペーター ラゥリーナ・ベンジューナイテ (テノール) (ソプラノ)

協奏曲を雄弁

、かつ完璧に奏でた名チェリスト、ニコラ

の再登場も見逃せない。今回

|の演|

自は、

、同じく

《交響的

少なチャンスだ。

。加えて、

、今年2月にショスタコ

》と並ぶビゼ

ーの代表作。

お馴染みの音楽ではあ

後半の《アルルの女》第1、

第2組

のコンビネー

ショ

ンで、

しかも全8曲を通



ドン・アルフォンソ 平野 和



(バス・バリトン)



通奏低音 &声楽コーチ ペドロ・ベリソ

[特別協替] 三井不動産株式会社 〔協賛〕 住友商事株式会社 三井物産株式会社 三菱商事株式会社

音

楽性

にピッ

タリだからだ。

しかもソ

ノリス

-陣は粒

0 動

が統率力

ランス感覚も存分に発揮

され

るで

特別演奏会

の真髄をたっぷりと味わえるビッグ・チャンスだ。

KCO名曲スペシャル イヤー・コンサート 2025

、のは実に周到だ。

゚なぜなら、ピノックはモーツァル

1

゚ピノック&KCO初のオペラがこ

愉悦感たっぷりに弾むこのアン

サンブル・オ

2025 1/17(金)19:00·18(土)·19(目)14:00

ブル

[指揮] ライナー・ホーネック

たい あろう 佳品 揃 得意とする上に 奏曲》。この曲 る ゆ ú アえに、 が 1 こうしてみると、どの公演も魅力十分。ここはぜひ通しで足 《コジ・ファン・トゥッテ》。 作品 チの 、連のプロコフィエフが晩年に残した明快な傑作ヘ るのは稀 ŀ 後 モーツァ やはり今回 彼 う シュテット カ の第141回は、 一貴重な生体験となる ノッ

では美しくも機智に富んだ演奏が期待され

ピノックが指揮するモーツァルト

0

得て書かれたこの曲は 蜘蛛の饗宴》の選曲が嬉しい 作品中 、の隠れ なら、ピノッ な音とフレージングでスト ・オペラ座等のフランスのピッ 金沢への客演で好評を博している。 の場を広げている期待株 劇 14 。同国の指揮者&精緻な室内オーケストラの演奏は理想的 場 矛 0 回 ペラ指揮者国際コン D ö フランスの 真価 グラムで魅せる 清新なアプロ を明 、印象主義的 つらかに 俊英ピエ レー 。日本ではオーケストラ・アン 、ファー トから国 ク 彼 してくれるに違 チを味方に、ドヴォ で官能的な近代フランス かつ芳醇 は、 ブルの「 ル 1 今回はまずル ・ル・デュムソー で最高位を獲得 2017年ワ 内外のオーケストラへ なソロ 「昆虫記」に霊感 を奏でる彼 ルジ ロニー が セ

サ ル

歌

文/柴田克彦(音楽評論)

音楽でつづる文学

6

女三宮と柏木

六条御息所」でした。 氏物語』を取り上げ、 げました。昨年十二月の第五回から『源 第四回の公演では『平家物語』を取り上 しみいただくシリーズです。第一回から が結びついて織りなす豊かな表現をお楽 「音楽でつづる文学」は、音楽と文学 テーマは「葵上と

第七回は「女三宮」です。 性に焦点をあてます。第六回は「夕顔」、 回に引き続き『源氏物語』に登場する女 今回ご紹介する第六回と第七回も、 マン 前

物語』の作者、紫式部(生没年不詳) えてきました。来年の一月からは、 ガ、アニメなど、多くの分野に影響を与 は、文学、音楽、美術、演劇、映画、 平安時代中期に生まれた『源氏物語』 の



[図1]鈴木春信筆「見立源氏夕顏」 (東京国立博物館所蔵) 出典:ColBase(https://colbase.nich.go.jp)



送が始まります。このように、多くの人 生涯を描く大河ドラマ「光る君へ」の放

苦悩の女性「女三宮 薄幸の女性「夕顔」と

けたらと思います。

さまざまな音楽とともに、ご堪能いただ

に愛されている『源氏物語』の世界を、

根に咲く見慣れない白い花に気づきます。 出会った女性です。ある年の夏、 その花が、女性の名前にもなっている 病気見舞いに出かけた源氏は、隣家の垣 の怪におそわれ、十九歳の短い生涯を終 ばれますが、仲秋の名月の夜、 えました。 「夕顔」です。夕顔の花の縁で二人は結 顏 は、 光源氏が十七歳のときに 彼女は物 、乳母の

兄・朱雀院の皇女で、源氏四十歳のとき ちのなかでも、鮮烈な印象を残して消え る薄幸の女性が「夕顔」です いっぽう、 『源氏物語』に登場する多くの女性た 「女三宮」は、光源氏の異母 図 1

「源氏物語絵色紙帖 若菜上 詞菊亭季宣」 (京都国立博物館所蔵) 出典:ColBase(https://colbase.nich.go.jp) 三宮を恋い慕い、抑えきれない思いを遂 五歳ほどの年齢差がありました。その女 に正室となった女性です。源氏とは二十

げてしまうのが柏木です。柏木との不義 弱し、苦悩の末に出家の道を選びます。 の子を産んだ女三宮は、罪の意識から衰 多様な音楽 語の世界を昇華させる

の四つの作品をお聴きいただきます。 作品を、多彩な演出でご紹介しています。 〈うた語り〉 「夕顔」、 等組歌「須磨」と 扇の曲」、清元「源氏物語 第六回「夕顔」では、三曲合奏による 本シリーズでは、さまざまなジャンルの 夕顔の巻

ます。 筝も加えた演出でご紹介します。 舞伎舞踊の曲として初演された作品です。 顔」の物語を踏まえた歌が含まれていま の原点で、複数の歌を組み合わせて歌い 筝組歌は、静謐な響きを魅力とする筝曲 今回は、純粋な音楽作品として再編成し、 を含む特殊な構成で演奏されます。清元 「源氏物語 夕顔の巻」は、平成七年に歌 「夕顔」を組み合わせる珠玉の演出です。 〈うた語り〉は、朗読と地歌の名作 今回の「扇の曲」は、間奏「銀の調」 「須磨」と「扇の曲」には、 タ

> 鞠の催しの折に、猫のいたずらによって された女三宮と柏木に関連する場面の音 年に『源氏物語(第三部)』として上演 作曲の歌舞伎音楽「源氏物語」は、 柏木が女三宮の姿を目にする有名な場 紹介します。どうぞ、お楽しみに。 のための作品です。今回は、 れた舟橋聖一脚色の歌舞伎『源氏物語 二十六年に初演され、その後改訂増補さ 八橋流の伝承によるものです。宮城道 (図2)を歌います。「薄衣」は、珍し 新青柳」と「薄衣」は、 朗読も加えて再構成した演出でご 六条院 昭和二十九

(紀尾井ホール 邦楽専門委員) 文/野川美穂子

音楽でつづる文学 源氏物語

贝

6 夕顔

楽「源氏物語」をご紹介します。

組歌「薄衣」、宮城道雄作曲の歌舞伎音

人気曲で大曲の三曲合奏「新青柳」

第七回「女三宮と柏木」では、地歌の

お話 野川美穂子

[演目]

筝

地歌〈うた語り〉源氏物語より「夕顔」 福田栄香(歌・三絃・語り) 大嶋敦子(筝)、清野樹盟(尺八)

芦垣美穂(筝) ほか 清元「源氏物語 夕顔の巻」 清元志寿子太夫(浄瑠璃) 清元菊輔(三味線) 川瀬露秋(筝)ほか

7 女三宮と柏木

[演目] 野川美穂子 お話

宮城道雄作 歌舞伎音楽「源氏物語」

紺野美沙子(朗読)、深海あいみ(筝)ほか ₽組歌「薄衣」 てん・仁智(筝)

藤本昭子(三絃) 平野裕子(箏) 善養寺惠介(尺八)

※公演開催についての最新情報は紀尾井ホールウェブサイトをご確認ください。



に「加賀見山旧錦絵」があります。これはがあるまできょうのにしきえ 歌舞伎の演目で女方三人が主役の芝居

下谷の医者容楊黛が加賀藩のお家騒動を

「壇浦兜軍記 阿古屋」2021年10月名古屋御園座(阿古屋=坂東玉三郎)

岩藤に苛め抜かれ草履で面を打たれた中人形浄瑠璃に仕組んだもので、悪人の局のほ 子」が黒御簾で演奏されます。 の仇を討ちます。奥庭の仇討では箏曲を 老(重役)尾上が自害、召使のお初が主人 アレンジした「六段の合方」や「八千代獅

訓」の通称「山の段」(吉野川)。操に殉じたば、近松半二の最高傑作「妹背山婦女庭は、近松半二の最高傑作「妹背山婦女庭」 日本の「ロミオとジュリエット」といえ す。雅な音色とハープのような華麗なるア は、運命によって引き裂かれた老夫婦の三 筝が弾かれます。森鷗外の短編小説を宇 十数年ぶりの再会を、箏の音色が包みま 野信夫が脚色した「ぢいさんばあさん」で 娘の首が雛の節句の道具に納められ対岸 へ嫁入りする場面では、義太夫に合わせて

れの場面を彩って ルペジオがそれぞ

取り入れて完成。 ~1715)は、「地 田検校(1656 の孫弟子、京の生 の代表作です。そ 三味線の音階を 4~1685)が 紫筝」に始まり、 僧、賢順(1534 六段の調べ」は彼 八橋検校(161 ~1623)の「筑 筝は久留米の

> 検校(1757~1817)は、長唄や河東歌」と箏の合奏を確立しました。江戸の山田 あります。 世を風靡、湯屋で美声を聴かせた伝説が 節など江戸の音楽を加味し山田流箏曲を つくり、江戸っ子の趣味に合った芸風で一

三味線は琉球から伝来した楽器を、当道 紀前半までは舞台に盲人の演奏家も出演 舞伎の「長唄」の先祖も「地歌」で、十八世 が改良したもので三絃と呼ばれます。歌 座の大家、石村検校(1562~1642) 練され、地歌が合奏の中心となりました。 でに盲人の音楽集団「当道座」のなかで洗 していました。 た演奏を「三曲合奏」と呼びますが、近世ま 筝曲と地歌に胡弓または尺八が加わっ

本松原、「加賀見山再岩藤」の鳥居又助のどの「縁切り」や「愛想尽かし」、「沼津」の千 腹切のような悲痛な場面で演奏されます 頭」、「御所五郎蔵」、「籠釣瓶花街酔醒」な て工夫されました。歌舞伎では「伊勢音 一六段の調べ」を作曲した八橋検校によっ 弓で弦を擦る楽器、胡弓は石村検校や

端の前に揚幕の中から尺八が聴こえます。 嘩の道具にすることもありました。ご存じ れています。侠客が尺八を腰に差して喧 歌舞伎の「助六」では、花道へ登場する出 犯罪者や浪人が隠れ蓑にしました。岡本 虚無僧には関所通行の自由があったので、 禅宗の楽器となって虚無僧が吹きました。 綺堂作の「虚無僧」には不穏な集団が描か 尺八は七世紀後半に中国から伝来し、

求められます。 を吹きます。 と同様に高度 は、女方に演技 屋の琴責め」で 演奏する「阿古 傾城が舞台で 胡弓の三曲を な演奏能力が 三味線、琴、

千歳」、「黒塚」三曲は「鶴寿 昭和以降

の伴奏音楽を担うなど新しい歴史を重 など歌舞伎舞踊の音楽にもなり、また 源氏物語」、「平家蟹」、「天守物語」など





筝、三絃、尺八で演奏する三曲合奏(2017年6月3日「川瀬順輔をきく会」より)

クラシック音楽の テーマに基づく3つの話

な人物だったのでしょう からその才能を称賛された彼はどのよう な影響を及ぼしたイザイ。多くの音楽家 卓越した技巧と音楽性で音楽界に大き

良い演奏は食事にあり?

パートを、すべてヴァイオリン一挺で再現 880~1953)の回想録『ヴァイオリ してみせます。 スキの協奏曲を弾くのですが、「太った紳 もジャック少年は彼の前でヴィエニャフ たいらげてしまいます。いっぽう、ヴァイ 漢で、大皿料理をどれも半分くらい一人で 士」は「伴奏」と称して、オーケストラの オリンの腕前はおそろしく見事。勇敢に ンは語る』に登場する人物です。大変な巨 「太った紳士」はジャック・ティボー(1

ウジェーヌ・イザイ(1858~1931) をとるようになりました。 イザイは、その後も折に触れて彼と連絡 でした。ジャック少年の演奏が気に入った さながら魔神のようなこの音楽家こそ



をかけられたというのです。 ジュ・エネスコ(1881~1955)も、似 きるかのような理屈ですが、じつはジョル ねた際、エネスコは彼から、次のように吉 トでのイザイの演奏に感激して楽屋を訪 たような思い出を語っています。コンサー たくさん食べれば、それだけよい演奏がで しろ今こそ弾くべきだ」と反論する点です。 と主張するティボーに対して、イザイが「む うをたくさん食べたあとだから弾けない この回想録の記述で面白いのは「ごちそ

とりなさい!」 私のように弾きたいのなら、食事をうんと 「小さなエネスコよ、歳をとったときに

あふれる積極性

彼が、フランクの《ヴァイオリン・ソナタ》 どん自分の中に取り込んでゆく積極性が イザイにはありました。演奏家としての 食べ物に限らず、気に入ったものはどん

> 時代の音楽の初演を数多く手がけたこと は、よく知られている通りです。 やドビュッシーの《弦楽四重奏曲》など、同

扱った際、生徒に次のように声をかけてい とショーソンはこの曲をイザイの依頼で るところからも、うかがえるでしょう。 年のイザイが公開レッスンで《詩曲》を とがわかっています。関与の大きさは、晩 は依頼者自身の手で後から加筆された部 書き始めたのですが、独奏パートについて ショーソンの《詩曲》のケースです。もとも しまうこともありました。有名なのは 分(重音奏法のパッセージなど)も多いこ 勢いあまって、作曲家の仕事に介入して

ンツァを自力で書けたと思うのかい?」 - 君は本当に彼〔ショーソン〕がこのカデ

6つのソナタ 次代に託された

これは演奏可能ですが、このテクニックを の中でも、最重要なものの一つでした。ヴァ うに、重音奏法は数あるイザイの得意技 たように見えます。 音楽の可能性を一段階押し広げようとし あえて多用することで、彼はヴァイオリン 自作《無伴奏ヴァイオリン・ソナタ(全6 和音をポロロンとくずして弾けば、確かに つも出てきます。指を押さえ直しながら、 曲)》では、5音や6音からなる和音がいく イオリンの弦は4本のはずなのに、晩年の ショーソンの《詩曲》の例がよく示すよ

> かなり悪化していたためです。 よりも作曲当時までに、持病の糖尿病が としてはスランプに陥っていましたし、何 の勃発(1914年)あたりを境に、演奏家 はじめて成り立つような音楽ですが、面白 いことにイザイ本人はこれらのソナタを 人前で演奏していません。第一次世界大戦 まさに作り手自身の演奏技術があって

きている面もあるようです。 すよすがとして、かえって存在感を増して となっては失われた魔法の世界を思い出 ト6人にそれぞれ一曲ずつ、ソナタを献呈 分とつながりのある若いヴァイオリニス しょう。彼はティボーやエネスコなど、自 音楽を、次代に託したい思いがあったので しています。一風変わった音楽ですが、今 もはや自分では弾けない「イザイ風

文/太田峰夫(音楽学者)

イザイの集大成とも言うべき名曲 6つのソナタ全曲を通して聴く ・フィル コンサートマスター就任記念 紀尾井レジデント・シリーズ III 青木尚佳 (第1回)

[出演]

青木尚佳(ヴァイオリン)

無伴奏ヴァイオリン・ソナタ op.27 第5番ト長調/第6番ホ長調

※公演開催についての最新情報は紀尾井ホールウェブサイトをご確認ください。

日鉄ソリューションズプレゼンツ 紀尾井ホール室内管弦楽団特別演奏会

KCO名曲スペシャル ニューイヤー・コンサート2024 公開リハーサルに先着400名様をご招待!

2024年1月に開催する「KCO名曲スペシャル ニューイヤー・コンサート2024」の公開リハーサルを行います (無料)。普段なかなか観ることができない、指揮者とオーケストラの音楽づくりを間近で体験できる貴重な機会。抜群の音響を誇る紀尾井ホールとKCOの卓越した演奏に触れてみませんか?どなたでもお申込みいただけます※。ふるってご応募ください。 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。小学生は保護者が同伴でご来場ください。

日時 2024年1月24日(水)

16:30~17:30(予定)

場所 紀尾井ホール

定員 400名

(事前申込制、先着順、自由席)

【募集期間】

12月15日(金)~2024年1月15日(月)

■応募方法など、詳しくは紀尾井ホールウェブ サイトからご覧ください



2階バルコニー席からはこのようなアングルで観ることもできます。

天皇陛下が 紀尾井ホールにご来場



天皇陛下と、ご案内する進藤孝生評議員会長

6月5日に開催されたヴィオラスペース2023 vol.31 (主催:テレビマンユニオン)に天皇陛下が即位後はじめて紀尾井ホールにご来場されました。

手数料はあまり払いたくないなぁ …… どうしたらいいの?

日本製鉄文化財団 主催公演チケットTiP④

カード決済・コンビニ発券をお選びください。カード決済でお支払いいただくと、お客様が負担する決済手数料はございません。クレジットカードによってはポイントやマイルも貯まり、さらにお得になることも。チケットの発券には、ファミリーマートとセブン・イレブンのいずれをご選択いただいてもシステム利用料、発券手数料は例外なくかかります。コンビニ支払および口座振替(新規受付停止中)では、1件(1回のご購入)ごとに決済手数料がかかるので、カード決済がダンゼンお得です。





TIPのコーナーでは当財団主催公演チケットの「購入手続きの中でのヒント(Tips in Purchase)」をご紹介していきます。

紀尾井ホール リニューアルに伴う 全館休館のお知らせ

1997年4月の開館以来、395万人以上のお客さまにご来場いただいています。今後も末永く愛されるホールを目指し、開館30年を機に改修工事を行います。これまで高く評価されているホールの音響や基本的な内観はそのままに、より安全・快適な環境で音楽をお楽しみいただけるよう、舞台設備・客席の更新やバリアフリー対策など、設備のリニューアルを行います。リニューアル後の紀尾井ホールにどうぞご期待ください。

[休館期間] 2025年8月1日~2026年12月末(予定) [対象施設] 紀尾井ホール、紀尾井小ホールを含む建物全体

なお、紀尾井ホール室内管弦楽団 定期演奏会などの演奏会は休館中も別の会場で開催する予定です。詳細は現在調整中です。

今号の表紙

『サクソフォンと ポインセチア』

[協力] 花/レ・ミルフォイユ・ドゥ・リベルテ 紀尾井町店 サクソフォン/ドルチェ楽器 通称「クリスマスフラワー」と言われるポインセチア。大きな赤と緑の葉が印象的で、まちを彩るクリスマス飾りに大活躍します。オーケストラでサクソフォンが活躍する曲といえばビゼーの劇音楽《アル

ルの女》が有名ではないでしょうか。来年9月に開催する紀尾井ホール室内管弦楽団第140回定期演奏会では第1組曲・第2組曲を演奏します。

紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です

紀尾井サポートシステム会員(五十音順・「株式会社」等表記及び敬称略)

《特別協賛会員》住友商事/日鉄ソリューションズ/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所

《みやび会員》 伊藤忠商事/大島造船所/鹿島建設/商船三井/菅原/住友商事/日本郵船/丸紅/ 三井住友銀行/三井不動産/三井物産/三菱商事/三菱地所/メタルワン ほか匿名2社

《ひびき会員》 オカムラ/高砂熱学工業/竹中工務店/東京きらぼしフィナンシャルグループ/山下設計《みどり会員》 青鬼運送/赤坂維新號/今治造船/ヴォートル/エーケーディ/荏原冷熱システム/ザ・キャピトルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/西武リアルティソリューションズ/大成建設/千代田商事/テェイスト・ライフ/東芝ライテック/永田音響設計/ニュー・オータニ/ハウス食品グループ本社/パナソニック/三井住友信託銀行/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/ミュージション/明治座舞台/ヤマハサウンドシステム/ワークショップ21

《あおい会員》 青木陽介/浅沼雄二/淺見 恵/石崎智代/磯部治生/伊藤眞理子/井上善雄/岩城宏斗司/上野真志/馬屋原貴行/大内裕子/大垣尚司/大久保なほ子/太田清史/小川保/小倉 ヒロ・ミヒャエル/糟谷敏秀/片山國正/片山能輔/加藤巻恵/加藤優一/神川典久/川口祥代/川島知恵/菊池恒雄/木谷 昭/楠野貞夫/栗山信子/河野紗妃/小坂部恵子/小西美由紀/斎藤公善/齋藤辛子/坂詰貴司/佐久間庸行/佐部いく子/澤田紀子/潮崎通康/柴田雅美/清水正/清水多美子/清水康子/白土英明/末岡明武/鈴木順一/鈴木 亮/高下謹壱/田中 進/戸田純也/外山雄三/鳥居荘太/内藤基之/中塚一雄/中西達郎/中野洋子/中村健司/中山昌樹/名取正夫/原田清朗/日原洋文/冬木寛義/北條哲也/堀川将史/牧本恵美子/松枝 カ/松本美恵/丸井正樹/簑輪永世/宮島正次/宮田宜子/宮武悦子/宮原 薫/宮本信幸/陸田 実/村上喜代次/村上敏子/持留宗一郎/八木一夫/八木晶子/矢田部靖子/山内寿実/山口 聡/横手 聡/渡邊一夫/渡辺弘次/渡辺由香里ほか匿名46名 計243口 (2023年10月1日現在)

特別支援会員(五十音順・「株式会社」等表記略)

アステック入江/五十鈴/NS建材薄板/NSユナイテッド海運/ NSユナイテッド内航海運/エヌエスリース/エヌテック/王子製鉄/ 大阪製鐵/九築工業/草野産業/黒崎播磨/合同製鐵/ 鴻池運輸/小松シヤリング/山九/産業振興/三晃金属工業/ サンユウ/三洋海運/山陽特殊製鋼/ジオスター/新日本電工/ スガテック/大同特殊鋼/大和製罐/高砂鐵工/高田工業所/ 鶴見鋼管/DNPエリオ/テツゲン/電機資材/東海鋼材工業/ 東邦シートフレーム/トピー工業/日亜鋼業/日鉄SGワイヤ/ 日鉄エンジニアリング/日鉄片倉鋼管/日鉄環境/ 日鉄ケミカル&マテリアル/日鉄建材/日鉄鋼管/日鉄鉱業/ 日鉄工材/日鉄鋼板/日鉄興和不動産/日鉄スチール/ 日鉄ステンレス/日鉄ステンレス鋼管/日鉄精圧品/日鉄精密加工/ 日鉄総研/日鉄ソリューションズ/日鉄テクノロジー/ 日鉄テックスエンジ/日鉄ドラム/日鉄物産/日鉄物流/ 日鉄物流君津/日鉄物流八幡/日鉄プロセッシング/ 日鉄保険サービス/日鉄ボルテン/日鉄溶接工業/ 日鉄レールウェイテクノス/日本金属/日本触媒/濱田重工/ 富士鉄鋼センター/不動テトラ/北海鋼機/幕張テクノガーデン/ 三島光産/宮崎精鋼/吉川工業/ワコースチール

日本製鉄 (2023年10月1日現在)

フォトレポート

紀尾井レジデント・シリーズ II 川口成彦(第2回) "協奏曲の宴~withブロードウッド(1800年頃)"



ピリオド楽器でさまざまな時代の作 品を聴いてみる、というコンセプトは、 予告ではピンと来なかったのですが、 会場で実際に音を聴いてたいへん 納得しました。作品の様式と楽器の 特性をどう繋ぐか、という奏者の取り 組みがよく伝わってきました。





© 武藤章

7.14(金)・15(土) 紀尾井ホール室内管弦楽団 第135回定期演奏会

冒頭のキラル《オラヴァ》から一気に 「トネッティ・ワールド」へ引き込まれ ました。今回はオーストラリア室内管 弦楽団のスタイルと同様に、管楽器 も弦楽器(チェロを除く)も全プログラ ムを立奏! 生き生きとした演奏に、会 場から大きな拍手が送られました。





© TomokoHidaki

9.7(木) 邦楽探検 詞章の謎 File.4 長唄「娘道成寺」



児玉さんの解説も大変興味深く、源 九郎さんの踊りながらの説明も解り やすく腑に落ちました。また地方(長 唄・出囃子)も優れた方々が要に入 り、素踊りとは言え『娘道成寺』の世 界に入り込めました。講演(公演)内 容として満足です。







9.22(金)・23(土) 紀尾井ホール室内管弦楽団 第136回定期演奏会

リハーサルから素晴ら しい演奏・歌唱がホー ル内に響き渡り、魂が 浄化されるような一週 間でした。ピノック指揮 のもと、ソリストの3名と 合唱、オーケストラ全員 が一体となって雄大で 幸福感に満ちた賛歌を 聴かせてくれました。









チケットのお申込み

紀尾井ホールウェブチケット

https://kioihall.jp/tickets



















公益財団法人 日本製鉄文化財団

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号 TEL.03-5276-4500(代表) FAX.03-5276-4527 https://kioihall.jp





紀尾井ホール